

教 育 委 員 会 資 料
 令 和 8 年 4 月 2 3 日
 生 涯 学 習 課

第25回（令和8年度）櫻井徳太郎賞論文・作文募集について

1 趣 旨

民俗学・歴史学・考古学等を通じ、地域を基盤にした学問の発展・発達と、地域を活かす立場から研究を進める人材の育成を図るとともに、次代を担う青少年の地域研究の奨励と、郷土愛を育むことを目的として実施する。

2 論文・作文等の募集

全国より、一般・高校生は論文、小・中学生は作文の一般公募を行う。

部門	文字数・内容など	申込締切
小・中学生の部	●文字数 1,200～2,800字（小学生は800字から応募可） ●内容 地域の歴史や文化、生活、身近にあるものについて、調べたことや考察したことをまとめ、その記録や写真を添付した作文。	9月7日（月） 消印有効
高校生の部	●文字数 4,000～16,000字以内 ●研究形態 個人研究または共同研究 （※共同研究は800字程度の論文要旨を添付） ●内容 地域の歴史・民俗学的なテーマで調査・研究し、考察したことをまとめた論文。	
一般の部 （大学生・大学院生を含む）	●文字数 本文20,000～30,000字以内 論文要旨800字程度 ●内容 日本、東アジア地域の民俗学・歴史学・考古学等の視点や手法で調査・研究した未発表の論文。 特にフィールドワークなどによって見つけ出した新しい資料や、学際的な視点で書かれた論文。 ※過去の大賞受賞者は応募不可。	

3 留意事項

- （1）いずれの部門も二重投稿不可。
- （2）いずれの部門においても、応募者自身が執筆した未発表のものに限る。AI（人工知能）により生成、利用した作品は応募不可。
- （3）作品の審査前後にかかわらず、盗作、不適切な引用等があった場合は審査対象外とする。

4 公募のPR

(1) 周知方法

- ア 区ホームページ
- イ ポスター掲示
- ウ 募集要項、チラシ配布

(2) 周知先

- ア 全国の民俗学講座設置大学、及び主要大学
- イ 民俗学・歴史関係学協会等
- ウ 当区文化財係、郷土資料館と交流のある全国の教育委員会及び博物館施設
- エ 23区内の国公立小、中、高等学校、歴史研究会等の部活動設置高校
- オ 公募ガイド、その他歴史民俗関係雑誌への掲載（予定）

5 論文・作文の審査（審査委員は予定）

応募論文については、審査会を設置して大賞等の選定を行う。

- 審査委員 久保田昌希 氏（駒澤大学名誉教授、歴史学）
酒井 清治 氏（駒澤大学名誉教授、考古学）
真野 俊和 氏（元筑波大学教授、民俗学）
茂木 栄 氏（國學院大學名誉教授、民俗芸能）

6 入賞作の発表・公開

- (1) 「一般の部」大賞（奨励賞）論文及び「高校生の部」、「小・中学生の部」の入賞作は、受賞論文・作文集に掲載する。
- (2) 板橋区ホームページにおいて、「一般の部」の大賞（奨励賞）論文の概要及び「高校生の部」、「小・中学生の部」の入賞作を公開する。
- (3) 「小・中学生の部」は、入賞が決定した作文題名・氏名・学校名・学年を、受賞論文・作文集に掲載する。

7 表彰と副賞

(1) 一般の部

- 大 賞もしくは奨励賞 1 編
大 賞 賞金 30万円・ 奨励賞 賞金 20万円
※審査結果によっては受賞該当者が存在しない場合もある

(2) 高校生の部

- 最優秀賞 1 編 図書カード5万円分
優 秀 賞 3 編 図書カード2万円分
佳 作 5 編 図書カード5千円分

(3) 小・中学生の部

- 最優秀賞 1 編 図書カード2万円分
優 秀 賞 3 編 図書カード5千円分
佳 作 5 編 図書カード2千円分

※(2)(3)ともに、審査結果によっては、該当者が存在しない場合や受賞編数が増減する場合もある。

8 スケジュール（予定）

令和8年4月	区ホームページに掲載
5月	募集要項・ポスター発送
9月7日	応募受付締切
10月中旬	第1回審査会開催
11月上旬	第2回審査会開催・受賞者決定
11月下旬	審査結果通知
令和9年2月28日	授賞式（板橋区立中央図書館）

第25回 櫻井徳太郎賞 論文・作文募集のお知らせ

本賞は、民俗学・歴史学・考古学を通じ、地域を基盤にした学問の発展・発達と、地域を活かす立場から研究を進める人材の育成を図るとともに、次代を担う青少年の地域研究の奨励と、郷土愛を育むことを目的としています。

フィールドワークや一次資料を対象とした調査・研究による論文（一般の部・高校生の部）、作文（小・中学生の部）を公募し、優秀作品には賞を授与します。

募集要項

《 一 般 の 部 》（大学生・大学院生を含む）

募集内容

日本を含む東アジア地域に限定したテーマを設定し、民俗学(民俗芸能を含む)・歴史学・考古学的手法により調査・研究をしてまとめた研究論文。特にフィールドワークなどによって発掘した新しい資料や知見に基づき、学際的な視点によってまとめられた論文を募集します。ただし、過去の櫻井徳太郎賞大賞受賞者は応募することができません。

文字数・体裁

- ・20,000字以上、30,000字以内（400字詰原稿用紙換算50～75枚）。
- ・縦書、横書は任意で、1枚ごとに頁番号をつけてください。
- ・本文とは別に、表紙（論文題名と住所・電話番号・氏名・生年を明記）と、論文要旨（800字程度）をつけてください。
- ・パソコン等使用の場合は、A4判用紙に40字×30行一段組で印字してください。
 - ＊ 図・表・写真は文字数に含めません。
- ・フィールドワーク等の現地調査で得た資料情報、調査記録写真を必ず添付してください。

締切 令和8年9月7日（月）消印有効

《高校生部》

募集内容

地域を限定して歴史・民俗学的なテーマを選び、フィールドワークや一次資料の調査を通して、個人で調べたことをまとめた論文、または共同で調査・研究をしてまとめた成果物を募集します。

文字数・体裁

- ・個人、共同研究いずれも4,000字以上、16,000字以内（400字詰原稿用紙換算40枚以内）。
 - ・共同研究については、800字程度で研究の目的と成果をまとめた要旨をつけてください。
 - ・縦書、横書は任意で、1枚ごとに頁番号をつけてください。
 - ・本文とは別に、表紙（題名と住所・電話番号・氏名・学校名・学年を明記）をつけてください。
 - ・パソコン等使用の場合は、A4判用紙に40字×30行一段組で印字してください。
- ＊図・表・写真は文字数に含めません。
- ・フィールドワーク等の現地調査で得た資料情報、調査記録写真を必ず添付してください。

締切 令和8年9月7日（月）消印有効

《 小・中学生の部 》

募集内容

身近に存在する古くからあるものや昔の生活について、自らが実際に訪れたり、大人から聞き取りをしたりすることにより、感じたことやわかったことなどをまとめた作文を募集します。

文字数・体裁

- ・自筆の場合は、中学生は400字詰原稿用紙で3～7枚（1,200～2,800字）、小学生は400字詰原稿用紙で2～7枚（800～2,800字）とし、パソコン等使用の場合はA4判用紙に40字×30行一段組で

印字してください。

- ・縦書、横書は任意とします。
- ・自らが実際に訪れた場所、調べたものの記録（表や図版）や写真・地図等を必ず添付してください。
- ・参考にした図書や資料名を必ず書いてください。
- ・本文とは別に、表紙（題名・住所・電話番号・氏名・学校名・学年を明記）をつけてください。

締 切

令和8年9月7日（月）消印有効

留意事項

- （1）いずれの部も二重投稿は不可です。
- （2）いずれの部においても、応募者自身が執筆した未発表のものに限ります。A I（人工知能）により生成、またはAIを利用した作品は応募不可です。
- （3）作品の審査前後にかかわらず、盗作、不適切な引用等があった場合は審査対象外とします。
- （4）文字数・体裁が守られていない場合は、審査しません。

賞・その他

— 賞 —

一般の部 **大賞または奨励賞 1編** **大賞賞金 30万円または奨励賞賞金 20万円**

※一般の部の受賞はいずれか一賞のみとなります。また、受賞該当者がいない場合もあります。

	最優秀賞 (各1編)	優 秀 賞 (各3編)	佳 作 (各5編)
高校生の部	図書カード5万円分	図書カード2万円分	図書カード5千円分
小・中学生の部	図書カード2万円分	図書カード5千円分	図書カード2千円分

— 発 表 ・ 公 開 —

- ・審査結果は令和8年12月上旬頃に通知いたします。
- ・授賞式は令和9年2月を予定しています。
- ・受賞論文・作文と受賞者の氏名・学校名・学年などは、『第25回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集歴史民俗研究』に収録するとともに、板橋区ホームページで公開いたします。
- ・各受賞作品の著作権については著者に帰属しますが、出版権は主催者に帰属します。
- ・第24回櫻井徳太郎賞受賞作品については区ホームページで公開しています。二次元コード ➡



第24回受賞作品
区ホームページ

審査委員（※敬称略）

久保田 昌希（駒澤大学名誉教授、歴史学）	真野 俊和（元筑波大学教授、民俗学）
酒井 清治（駒澤大学名誉教授、考古学）	茂木 栄（國學院大学名誉教授、民俗芸能）

応募方法

- ・表に「櫻井徳太郎賞△△の部応募作在中」と朱書きしたうえ、「簡易書留」もしくは「レターパック」にて郵送するか、または持参してください。
- ・応募論文・作文は返却しないため、コピーや控えは手元に残すようご注意ください。作品返却が必要な場合は、切手を貼った返信用封筒を同封してください。

応募・問い合わせ先

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1 板橋区教育委員会事務局生涯学習課文化財係
TEL 03-3579-2636 / FAX 03-3579-2635（生涯学習課直通）
URL <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/bunkazi/sakurai/index.html>



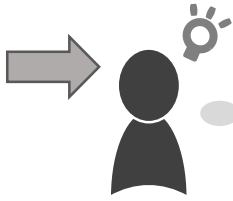
第25回櫻井徳太郎賞
募集ホームページ

第 25 回櫻井徳太郎賞〈小・中学生の部〉

地域の歴史・文化についての作文を募集します

～フィールドワークによって地域の歴史や文化を調べてみませんか～

これまでに
学んだこと



もっと
知りたい
研究したい

テーマ例 地域の歴史・文化
生活 伝統 言い伝え
まつり おどり 行事
身近にある古いもの など

とくちょう
特徴は？
ちが
違いは？

書き方例

タイトル

学校 年 名前

わたしは、〇〇〇について、～がきっかけで
興味(疑問)をもったので調べてみました。

そもそも、〇〇〇とは・・・

〇〇〇を調べるために△△△に行きました・・・

地図

写真

〇〇〇を調べた結果、上の表のようになり、
～～ということがわかりました。さらに、〇〇〇
の特徴は・・・であると考えました。

【参考にした資料】

『△△△△について』、『□□□□の歴史』
インタビューした人 など

必要
1

テーマとそのテーマにした理由

テーマを決めて興味・疑問をもった
きっかけや理由を書く

必要
2

調べて整理する

〈調べ方〉

- 興味・疑問をもったことを実際に見に行ったり話を聞いたりして本などで調べる
- 調べたことを図や表を作ってまとめる
写真を使って説明する
※写真をとってもよいか、持ち主や関係者に必ず確認してください
- 特徴・違いを見つける

必要
3

調べて、考えた結果をまとめる

- 図・表・写真からわかること
- 特徴・違いがある理由 など

必要
4

参考にした情報

- 協力してくれた人や話をしてくれた人
- 調べた本や資料 など

【書 き 方】〈小学生〉400 字作文用紙 2～7 枚 (800～2800 字)

〈中学生〉400 字作文用紙 3～7 枚 (1200～2800 字)

【注 意】●自分で書く、またはパソコンなどで作成してください。

(パソコンの場合は A4 用紙 40 字×30 行)

縦書き・横書きどちらでもかまいません。

●AI (人工知能) による生成・作成はできません。

●他の賞への二重投稿はできません。

●表紙に、タイトル・住所・氏名・電話番号・学校または学年 を書いてください。

【応募方法】学校で取りまとめをしている場合は、学校を通じてご応募ください。

※学校を通じて応募いただいた場合は、学校を通じて返却します。

個人で応募する場合は、郵送 (簡易書留・レターパック) または直接持参

※応募作品は返却しません。控えはお手元に残すようご注意ください。

作品返却が必要な場合は、切手を貼った返信用封筒を同封してください。

【応募・問合せ先】板橋区教育委員会事務局生涯学習課文化財係

〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1 板橋区役所北館 6 階⑤窓口

電話 03-3579-2636 (直通) F A X 03-3579-2635 (生涯学習課直通)



第 25 回募集案内
区ホームページ



第 24 回受賞作品
区ホームページ

しめきり
締切

9月7日(月)

けしんゆうこう
消印有効